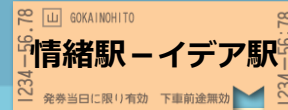


福島産の農水産物は食べても大丈夫ですか？

学習内容の定点

アイデア駅 志の人

- 一. 町の全貌を見渡す俯瞰的視点
- 二. 世界観の醸成
- 三. 国際的視点から偏向報道を批判



アイデア的側面:

- 俯瞰性 (1) : 市民を誘導し風評被害につながる報道をするマスコミを避けるよう心がける。
- 俯瞰性 (2) : 概ね、福島原発事故による放射能が人体に与える影響は無視できることが分かりました。
- 俯瞰性 (3) : 福島と東北の農家を支援してきたボランティアは、あまりにも矛盾している実態に驚きま
す。悲惨な被害者もおれば、巨額の補償金を受け取った人もいて、複雑な様相になっている。

情緒駅 [科学+常識+情緒] の人

- 一. 恐怖・呪縛という心理を分析する
(アンカー効果、後光効果)
- 二. “空気”と“呪縛”に“水”を差す方法
- 三. “情緒の自由”と“共同体のルール”
多数決の原理を採用。

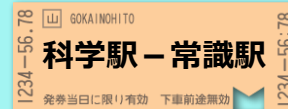


情緒的側面:

- 情緒 (1) : 科学、常識の側面から、問題はないとしても、原発事故というだけで食品汚染を情緒的に心配
する人がいます。
- 情緒 (2) : 福島産、東北産の食べ物への不安を煽る、敬遠することを周囲に求める、ありもしない危険性
を騒ぐというのは、他人の生活を侵害する大変な問題です。日本の農業、漁業、食品関連業に
風評被害で人々の生活を壊すことは止めましょう。
- 情緒 (3) : 行政や政治が、国民の空気に負けて不必要な規制を行うことは、公権力を使って他人に誤った
情報と価値観を押しつける危険な行為であると認識しなければなりません。

常識駅 [科学+常識]の人

- 一. “量”を問題にする
- 二. 「日常生活に支障があるか、ない
か」を判断基準にする
- 三. PDCAをまわす組織は信頼性が高
い

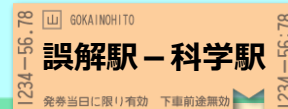


常識的側面:

- 常識 (1) : 現在までに、流通食品で基準値 (100Bq/1kg)を超えているものはない。非流通品の野生のキノ
コ、イノシシ、鹿などでは基準値を超えているものがあるようです。
- 常識 (2) : 福島県の生協・農協が行った調査で放射能はほとんど検出されなかった。また希望者に対し
内部被ばく量を測定したが被ばく量の増加は測定されなかった。内閣府の調査結果も同じです。
- 常識 (3) : 厚生労働省はセシウム (134と137の合計値) について、食品1キロ当たり100Bq、飲料水は
10 B q、牛乳と乳児用食品は50 B qにするという厳格な基準を2012年4月から採用した。これ
は欧米諸国に比べて大変厳しい。コーデックス (国際食品規格) 委員会は、食品1キロ当た
り1000 B qであり、日本よりはるかに緩いものです。

科学駅 科学の人

- 一. 誤解の科学的側面を明確にする
- 二. 科学は“判断”に関係なく、常識は
“量”を問題にする、という認識



科学的側面:

- 疑問 (1) : 福島原発事故により、野菜、お米、魚類は許容できないほど汚染されているのではない
か。
- 疑問 (2) : 福島を食物を食べることにより、内部被ばくが起るのではない
か。
- 疑問 (3) : 日本の食品の放射能基準は、甘いのではない
か。

誤解駅 誤解の人

- 目星をつける:**
- 一. 誤解の特徴を明確にする
 - 二. 誤解を科学的、常識的、情緒的側
面に分解する